

第2回情報通信部会（オープン部会） 部会長報告

1. 事業名 **AIチャットサービス活用セミナー**

2. 目的 生成系AIの最新動向を学ぶとともにデジタル化やAIの業務活用事例紹介を通じて、企業内のデジタル化を推進するため開催した



3. 日時 2024年7月25日（木） 14：00～15：30

4. 場所 イヤタカ 2階 ボストンC

5. 出席者 29名

6. 講演 **「中小企業のAIの使いどころ」**

7. 講師 (株)にぎわい研究所
代表取締役 村上知也氏（中小企業診断士）

講演内容①

【AIの使いどころ】

- **アイデア出し、文書校正、要約**

AIはインターネットからの情報を要約することに優れている

- **経理処理**

請求書やレシートの写真データを解析することが可能なため、仕訳や税率判定（標準or軽減）を自動処理できる

- **顧客問合せ対応、社内データの活用による調べ物**

顧客の問合せ履歴や社内データを蓄積・学習するため、顧客からのクレーム回避、経験の浅い職員等への教育、自社の関連する過去の取組等を調べる際に活用できる

- **チラシ作成**

これまでイラストサービスを利用し、文書作成ソフト等で作成していたチラシ等の自動作成が可能となる

講演内容②

【AI活用における注意点】

- 著作権の扱いは各サービスの利用規約によるが、**生成物が著作権を侵害していた場合、利用者の責任となることが多い**
- インターネット上で共有されるため、**機密情報を入力しないこと**
(社内ネットワーク等閉鎖された環境での使用は可能)
- インターネット上には正確性の欠いた情報が含まれているため、**公となる調査や文書作成などでの利用はしないこと**

【利用者の心構え】

- ① AIを使いこなす力は特別なものではない。**失敗を恐れず積極的に触れ、デジタル時代に乗り遅れないようにすること**
- ② 回答を鵜呑みしない。**精度は6割程度の統計情報と捉えておくこと**
- ③ AIから**良い回答を得るためには、質問を重ねることが重要**。目的、背景、前提条件、文字数等の出力形式等を入力する必要がある

【基本情報】

- 建設・製造業：7名、卸売業：3名、小売業：1名、
サービス業：11名、無回答：1名

【AIの活用状況】

- 情報収集しており、業務での活用を検討中 34.8%
- 個人的に業務で活用している 26.1%
- 業務で既に活用している 21.7%
- 情報収集したが、業務で活用する予定はない 17.4%

【受講者のコメント】 ※抜粋

- 音声やイラスト生成AI等の具体例を紹介して欲しい
- まずは触れてみて、活用に繋げたい